

2021(令和3)年度 浦河町・札幌国際大学地域連携事業

※2021(令和3)年度事業「公開講座」は例年通り計画・準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況や北海道のまん延防止措置の発出を受けて浦河町・大学の担当者間で実施の可否を協議し、中止することとなった。以下は「公開講座」で予定されていた内容と「学びの土台づくり」事業についてまとめる。

【2021(令和3)年度地域連携事業の目的】

[子育て支援分野]の取り組みとして、学生の保育技能向上に関わる課題解決型学習の成果発表の機会となる学生企画の「公開講座」と、子どもの学力・運動能力等の基礎力向上につながる「学びの土台づくり」講座を行う。また浦河町の保健衛生・福祉介護・子育ての人材誘致につなげる機会として、地域の特色や産業、就業環境への理解を深める。

【担当】

林二士 [子育て支援分野] 公開講座① 運動遊びイベント、幼児期からの学びの土台づくり事業講座
 神林裕子 [子育て支援分野] 公開講座② 英語遊びイベント
 朝地信介 [子育て支援分野] 公開講座③ 造形遊びイベント

【[子育て支援分野] 公開講座】 ※当初計画の内容

◇日程：2022年2月8日(火)・9日(水)・10日(木)

日時	スケジュール・場所	備考(食事等)
2/8(火)1日目		
9:30	ゼミごと打ち合わせ・準備	大学各教室
11:30	バス配車・荷物積み込み	大学
12:00	大学出発	
15:00	浦河町着・会場設営・両ゼミ合同リハーサル	文化会館
18:00	AERU着・チェックイン・夕食	AERU・レストラン
2/9(水)2日目		
7:30	朝食・各自準備など	AERU・レストラン
8:45	出発	
9:00	文化会館着・準備	文化会館
10:00	イベント①運動遊び(約30分)	
10:35	イベント②英語遊び(約30分)	
11:10	イベント③制作遊び(約30分)	
11:40	イベント終了・掃除	
12:00	昼食	弁当
13:00	学生向け研修(乗馬体験・乗馬療育学習) ※その他JRA施設見学、アイススケート体験、調理体験などから選択する形式で検討中	乗馬公園ほか
18:00	AERU着・夕食	AERU・バーベキューハウス
20:00	星空観察・記念撮影	JRA展望台付近
2/10(木)3日目		
7:30	朝食・各自準備など	AERU・レストラン
8:40	チェックアウト・出発	
9:00	文化会館着・準備	文化会館
10:00	イベント①②③ ※前日同様	
11:40	イベント終了・撤収作業	
12:30	昼食	弁当
13:30	浦河町出発	
16:30	大学着・荷物降ろし・解散	大学

◇会場：浦河町総合文化会館（浦河町大通3丁目52 TEL0146-22-5000）

文化会館ふれあいホール（メイン会場）、和室1・2・3（準備・控室）、第3研修室（学生控室）

◇参加学生：造形表現コース10名（朝地）、運動遊び指導実践コース10名（林）、
英語で遊ぼうコース9名（神林） 計29名

◇対象：1日目 雛菊保育所10名・くるみ保育所10名・フレンドようちえん15名 4～5歳児計35名
2日目 夢の国幼稚園・保育園 5歳児37名

◇担当：浦河町役場子育て医療課 小林課長、早坂さん

◇移動：大型バス（60人乗り）

◇宿泊：2月8～10日（2泊3日間）

うらかわ優駿ビレッジAERU（浦河町西舎141-40 TEL01462-8-2111）

◇費用：浦河町および札幌国際大学地域連携センター予算より支出

◇イベント実施前のコロナウイルス安全対策

※実施前の対策については、学科の実習時の事前準備に沿う。

※幼児教育保育学科の【新型コロナ対応フローチャート（チェックシート）】を参照し対応する。

・参加者（学生・教員）のイベント2週間前（1/25～）からの検温・体調記録、行動記録を行う。
⇒ゼミごとに、1週前の週末1/30（日）、直前の週末2/6（日）に、担当教員に報告する。

・イベント1週間前までに各自でPCR検査を実施し、結果を担当教員に報告する。

※ただし検査に要する時間や検査精度の関係で、抗原検査のみを行う方法に変更。

・2/8（火）（浦河への出発初日）の朝に各自で抗原検査を実施し、結果を担当教員に報告する。

・検温、体調チェック期間中に継続した発熱・体調不良があったり、イベント当日に発熱・体調不良がある場合は不参加。【相談・申告必須】

◇イベント開催時のコロナウイルス安全対策

・学生には1人ずつ、マスクを着用する。（必要に応じてフェイスガード）

・手指の消毒を徹底し、子どもへの接触への対策をする。

・複数の子どもや学生が触れるものはこまめな除菌をする。

・集合や整列、移動する際には各人の距離をとるよう動線を工夫する。

・対応する学生ができるだけ入れ替わらない（接触を減らす）ように担当範囲を決める。

・制作の際は、使用場所をシートごとに区切り、シート1枚ごとの子どもの参加人数を制限するなどして、子ども活動の範囲を決める。

・使用する用具は一式ごとに分けて用意し、参加者同士の用具の共有を減らす。

◇イベント時以外（移動・宿泊・食事）のコロナウイルス感染予防対策

・【三密回避、マスク、消毒】の徹底。

・原則として北海道の警戒ステージ（レベル3）に合わせた感染予防対策と、大学の対面授業実施と同様の感染予防対策、および使用する各施設の安全対策・安全基準に沿う。

◇イベント中止判断の検討

※以下の状況となった場合は、浦河町・国際大学担当者双方で実施判断を検討し方針を決定する。

・北海道の警戒ステージ4または緊急事態宣言に相当する状況になった場合。

・イベント前に大学の学生間で集団感染が発生した場合、および浦河町の関係者間で集団感染が発生、または町内で感染状況が拡大している場合。

◇公開講座① 運動遊び『スーパーヒーロー！！BB（ビックボス）を救え』 【約30分】

《主な内容》ビックボスを救うためにカラダを鍛え（サーキット）、敵を倒し（しっぽとり・爆弾ゲーム）、ビックボスを救う。

- (1)準備体操（さぁ！でかけよう）
- (2)サーキット遊びを通して、敵に勝つために体を鍛える
 - ・ケンパ・マット・巧技台・縄跳びなどのコースを作りサーキットをクリアする
- (3)敵の弱点をねらえ（しっぽとりゲーム）：敵の体につけられた「しっぽ」をとる
- (4)敵を倒せ（爆弾ゲーム）：新聞ボールを用意し、爆弾ゲームを行い、敵にたくさんのボールを投げる
- (5)敵からビックボスを救い出す

《事前準備》事前（12月21日）に付属認定こども園で予行練習を行い、その反省をもとに運動遊びの内容や指導方法の改善、準備を行った。



◇公開講座② 英語遊び『えいごであそぼう～かず・からだ～』 【約20分】

《主な内容》絵本の読み聞かせやゲームを通して、英語で数遊びをします。また、英語で体を使ったゲームやダンスをして遊びます。

- (1)英語絵本の読み聞かせ（プレゼンテーションで読み聞かせ）（プロジェクタ、スクリーン使用）
 - ・0～10までの数が出てくる英語の絵本について、学生が読み聞かせをする。
- (2)Number Bundle Game
 - ・絵本に出てくる歌を歌いながら、子どもたちは自由に動き回る。
 - ・音楽を止め、子どもたちは学生が言った数と同じ人数で素早く集まる。（他ゼミ学生は人数調整役として、適宜グループに加わる）
 - ・何回か活動を繰り返す。
- (3)Simon Says Game（船長さんの命令の英語版）（学生はステージを使用）
 - ・体を使ったまねっこをゲームの説明をする。“Touch your head.”と学生が言うと、その通りに子どもたちは行動する。
 - ・次に、まねっこをゲームがレベルアップした、Simon Says Gameの説明をする。学生が“Simon says, touch your head.”というと、子どもたちは学生の指示通りに行動するが、“Simon says”をつけないで言った時は、指示通りに行動しない、というルールを説明する。
 - ・何回か活動を繰り返す。
- (4)Hokey Pokeyの曲に合わせてダンスをする。（YouTube使用、可能であれば学生はステージを使用）
 - ・10～20名程度の大きな円を作る
 - ・子どもたちは歌を聴きながら、学生の動きに合わせて、ダンスをする。

《事前準備等》英語遊びの活動は“Tinny Boppers”という英語絵本の読み聞かせから始めることとした。選定の理由としては、小さくそして不思議な生き物であるポッパーたちが数を増やしながら飛んだり走ったりする楽しいストーリーであること、また簡単な英語表現が多く英語をはじめて聞く子どもたちも絵から内容理解ができることがあげられた。読み聞かせ練習では、ポッパーの「数とその動き」がよく分かるように、学生たちは繰り返し読むところや動きを見せる場面などについて熱心に打ち合わせを行った。

Number Bundle Game や Simon Says Game では、ルールの説明の仕方について学生たちは時間をかけて話し合っていた。また絵本との関連から数や体の動きに関する英語表現について、ゲームを通して子どもたちが聞いたり言ったりできるように心がけていた。

Hokey Pokey は右腕や左足などの体の部位を曲に合わせて動かす楽しいダンスである。子どもたちがタイミングよく体の部位を動かすことができるよう「Next. Left foot! 次は左足だよ。」と学生たちは子どもたちに伝える英語表現やその説明などを確認していた。

今回、子どもたちとの英語遊びの活動は実施できなかったが、臨機応変に実情に合わせて活動の内容を修正し考えたことは保育職に就くという近い将来に向けて実践力を高める1つのよい機会となった。



Hokey Pokey のダンスについて
模擬保育をしている様子

◇公開講座③ 制作遊び 『Child Artist ～えのぐパラダイス～』 【約40分】

《主な内容》大きな紙と絵の具を用意し、子ども達みんなで色々な道具を使ったり全身を使ったりして絵を描いて遊びます。

- (1)事前に大きいサイズの画用紙(230×240cm)を用意し、5か所(星形)に配置する。また星形の中央に絵の具を配る場所(絵の具工場)を作る。
- (2)学生からイベントの内容と遊び方(制作の仕方)を説明する。
- (3)汚れ防止のカップなどを着用する。
- (4)子どもを5グループに分け、それぞれに学生が2人ずつ付く。
- (5)5か所の大きい紙にグループごとに分かれ、子どもが使いたい用具と絵の具の色を選んで制作を進める。学生は制作の補助を行う。(他ゼミ学生は中央の絵の具工場で絵の具を配布)
- (6)あと片付け。作品はその場で乾燥させる(⇒園に飾る)。
- (7)完成した作品の前で、子どものグループごと、子どもと学生などで集合写真を撮影する。

《事前準備》学生同士がアイデアを出して話し合った結果、主な遊びの内容として大きい紙を使った絵具遊びをすることになった。試作を通して、色々な道具や材料で色の付け方を試しながら工夫や注意のポイントを見つけていったり、本番の紙のサイズをどのくらいにするかや、どう子ども達に遊んでもらい自分達が関わるか、材料や用具は何が必要かなどを相談した。また、大きい紙を使う以外の絵具遊びのバリエーションを学生が持ち寄り、子どもが扱えるかを確認しながら検討した。



【幼児期からの学びの土台づくり事業 概要】

報告者：林 二士

全国的に子どもの体力や運動能力の低下が指摘される中、北海道の子どもの体力・運動能力は全国平均を下回っている。また全道における日高管内の学力低下や、体力・運動能力の低下は著しい傾向にあり、浦河町においても深刻な状況となっている。浦河町ではその改善策として、子どもたちの学びに向かう姿勢や意欲、基礎体力の向上を目指すことを目的に、平成30年度より「幼児期からの学びの土台づくり事業」を開始した。この事業では「幼児の運動遊び」を契機とし、町内の幼稚園・保育所の幼児の運動能力調査、町内の保育士向けの講座、親子向けの講座、子育てサークルへの講座などを展開し、今年度で4年目の事業となる。

本年は、昨年と同様に新型コロナウイルスの影響から、予定されていた事業が中止となる中、各園で行われている運動能力調査、11月には荒牧光子氏（遊び塾はらっぱ）をお呼びし、親子向けの講座「親子ふれあい遊び」、保育士向けの実技講座「遊び心を楽しもう」を開催した。

*札幌国際大学 地域・産学連携センター年報（WEB）第5号 浦河町・札幌国際大学地域連携事業報告（令和2年度） 参照

【過年度事業内容】

◇2016(平成28)年度

- ・4/15 協定締結（浦河町役場）
- ・6/25・26 [観光分野] 地域PRプロジェクト 浦河かつめし・特産品販売（札幌国際大学）
- ・12/7・8 [子育て支援分野] 公開講座 人形劇・ハンドベル合同公演（浦河町総合文化会館）

◇2017(平成29)年度

- ・6/24・25 [観光分野] 地域PRプロジェクト 浦河餃子羽根付き餃子丼・特産品販売（札幌国際大学）
- ・6/18 [スポーツ分野] 健康講座 「肩こり解消！ストレッチング」（浦河町総合文化会館）
- ・2/6・7 [子育て支援分野] 公開講座 人形劇公演（認定こども園夢の国幼稚園・保育園、雛菊保育園）

◇2018(平成30)年度

◎ [子育て支援分野] 幼児期からの学びの土台づくり事業講座

- ・8/1 「子どもの体力や運動遊びについて 浦河の現状と課題」（浦河町生涯学習センター） 保育士等25名
- ・11/14 「幼児の運動遊び」実技講座（浦河町ふれあい会館） 保育士等25名
- ・11/14・15 「幼児運動能力検査」（浦河町ファミリーサポートセンター） 3歳～5歳児220名
- ・11/1 親子体操教室「家庭でできる運動遊び」（浦河町堺町体育館） 3～5歳児親子30組
- ・2/12 振り返りの講座（浦河町役場） 保育士等25名

◎2/12～14 [子育て支援分野] 公開講座 人形劇公演（東町保育所、東部保育所、荻伏保育所）

◇2019(令和元)年度

◎ [子育て支援分野] 幼児期からの学びの土台づくり事業講座

- ・7/10～24 運動遊びの巡回指導実践（町内幼稚園・保育所6か所） 園児・保育士等30名
- ・10・11月 「幼児運動能力調査」 3歳～5歳児220名
- ・10/19 親子体操教室「家庭でできる運動あそび」（浦河町堺町体育館）3歳～5歳児親子30組
- ・11/13 乳幼児向け教室（親に向けてミニ講習） 3歳～5歳児親子30組
- ・2/18 振り返りの講座（浦河町役場） 保育士等25名

◎2/16～18 [子育て支援分野] 公開講座 人形劇公演（くるみ保育所、フレンドようちえん）

◇2020(令和2)年度

◎ [子育て支援分野] 幼児期からの学びの土台づくり事業講座

- ・ 10・11月 幼児運動能力調査（町内保育所等 3～5歳児対象 229名）
- ・ 2/17 振り返りの講座（浦河町役場） 保育士等 20名

◎2/8～10 [子育て支援分野] 公開講座（浦河町総合文化会館）

- ・ 公開講座① 運動遊び『レッツ！エンジョイ！うらかわオリンピック』
- ・ 公開講座② 制作遊び『みんなでへんしん！わくわく隊！』
- ・ 対象 2/9 荻伏保育所・東部保育所 幼児約 25名／2/10 東町保育所・フレンドようちえん 幼児約 30名

◇2021(令和3)年度

◎ [子育て支援分野] 幼児期からの学びの土台づくり事業講座

- ・ 10・11月 幼児運動能力調査（町内保育所等 3～5歳児対象 227名）
- ・ 11/11 親子向けの講座「親子ふれあい遊び」、保育士向けの実技講座「遊び心を楽しもう」を開催
講師：荒牧光子氏（遊び塾はらっぱ）

◎2/8～10 [子育て支援分野] 公開講座（浦河町総合文化会館） ※事業中止（当初予定の内容）

- ・ 公開講座① 運動遊び『スーパーヒーロー！！BB（ビックボス）を救え』
- ・ 公開講座② 英語遊び『えいごであそぼう～かず・からだ～（仮）』
- ・ 公開講座③ 制作遊び 『Child Artist ～えのぐパラダイス～』
- ・ 対象 2/9 雛菊保育所 10名・くるみ保育所 10名・フレンドようちえん 15名 4～5歳児計 35名
2/10 夢の国幼稚園・保育園 5歳児 37名